

# 平成 26 年第 3 回西海市議会定例会

## 市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
9月9日(火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	朝 長 隆 洋 議員	2
	3	3	湊 瀬 栄 子 議員	3
	4	4	永 田 良 一 議員	4
	5	5	中 野 良 雄 議員	5
9月10日(水)	6	1	渡 辺 督 郎 議員	6
	7	2	中 尾 清 敏 議員	7
	8	3	浅 田 直 幸 議員	8
	9	4	平 野 直 幸 議員	9
9月11日(木)	10	1	宮 本 一 昭 議員	10
	11	2	井 田 利 定 議員	11
	12	3	杉 澤 泰 彦 議員	12
	13	4	戸 浦 善 彦 議員	13
	14	5	小 嶋 俊 樹 議員	14

## 1. 岩 本 利 雄 議員

### 質問事項 1

#### 雇用創出における、地元企業との連携強化について

##### 質問の要旨

将来を見据えた雇用創出への思い切った投資を今実施しておかねば、消滅してしまう自治体の仲間入りをすることになってしまう。雇用創出への熱意を問う。

- (1) 地元企業との連携を強化し、なお一層の雇用創出を図ることは重要な政策である。大島造船所、電源開発（株）松島火力発電所、ダイヤソルト、それにミスズライフとの定期的な会合を持っているのか。また、その頻度は。
- (2) 大島造船所はベトナム進出を断念し、当地で事業拡大を計画していると聞くと聞くと、市としてどのような支援策があるのか。
- (3) 電源開発（株）松島火力発電所の3号機増設は、松島架橋や雇用創出への期待が大きい。その後の動きについて伺う。

### 質問事項 2

#### 企業誘致における差別化について

##### 質問の要旨

- (1) 西彼町風早地区に造成中の工業団地は、27年度に分譲を開始するとしているが、分譲完了予定はいつか。その見通しは。
- (2) 工業団地造成の目的は、企業立地である。造成しても、県内工業団地はもとより、他県自治体よりも企業立地条件を差別化し優位なものにしなければ、企業立地は叶わず荒地と化してしまう。本市が計画している差別化は何か。

### 質問事項 3

#### 高齢者の雇用創出について

##### 質問の要旨

- (1) 人口減少と、少子高齢化の波は全国的なもので、歯止めがかけにくい難問である。就業人口は減少し、高齢者の労働力が求められている。高齢者の潜在的な労働力は高く、雇用の場を求めている人は少なくない。また高齢者の生活は、年金制度への不安が強く、消費増税や公共料金等の値上げで不安定感があり、年金以外の収入を求めている。高齢者の雇用創出について、どのように考えているのか。

- (2) 高齢者の中には、農業をやってみたいと希望する方も多い。現在「農地中間管理機構」という素晴らしい組織を立ち上げている。農地を集積・集約しても「受け手」側の労働力が十分なのか問題である。担い手（リーダー）を補佐する労働力を、高齢者で補填するシステムを作れないか。
- (3) 職員の事務作業の中には、高齢者で実施可能なものがあると考えられる。可能なものを選択し、高齢者への委託業務にできないか。

## 2. 朝 長 隆 洋 議員

### 質問事項 1

#### 市内の漁業振興について

#### 質問の要旨

市内の漁業も、農業が抱える問題と同様に漁獲高の低迷、燃料費の高騰、後継者の不足など、非常に厳しい状況が続いている。このような状況を改善するためにも、漁協、漁業者、行政が一体となって振興を考えていかなければならない。

- (1) 市内の現在の漁業従事者の人数は。また、過去の推移はどのような状況か。
- (2) 現在の市内の漁協の運営・財政状況は。また、過去の推移はどのような状況か。
- (3) 各漁協の特化した漁種の振興策及び漁場の整備は進んでいるか。国・県との連携が取れているか。また、水産課としての、これまでの取組みは。
- (4) 現状に対して効果があったかどうかという検証がなされ、今後どのような方向性で振興を図る考えか。
- (5) 水産資源の6次産業化は進められているか。
- (6) 例えば、平戸市などは、海産物を利用した宿泊施設と連動したイベントとして、ヒラメまつりを実施したり、レストランを開業するなどのアピールを進め、さらにはふるさと納税制度を利用した海産物の全国的発送とPRを実施しているが、西海市においては、このような考えの振興策は考えられないか。
- (7) なかなか進まない後継者の育成に対してどのような支援を考えているのか。
- (8) 短期、中期、長期的な漁業振興計画及び連携した行動計画を策定し、確実に推進する必要があると思うがどうか。

### 3. 瀨 瀬 栄 子 議員

#### 質問事項 1

##### 避難場所の雨漏り問題について

##### 質問の要旨

- (1) 災害の発生が予想される場合や実際に災害が発生した場合、市民の命と安全を守るために避難場所が必要不可欠であることは言うまでもない。

ところが、避難場所であり、社会教育施設でもある雪浦地区公民館及び崎戸本郷地区公民館の施設は雨漏りがひどく、バケツを置いて使用するなど利用者が不自由している。

早急に修復する必要があると思うが、いかがお考えか。

- (2) 市内全域の避難場所の点検は実施されているか。その結果に基づくものとしてどのような対策を考えているか。

#### 質問事項 2

##### 防災マップの作成について

##### 質問の要旨

私自身、西海市総合計画後期計画に対するパブリックコメントの募集に応じて、災害危険場所や避難経路などを避難場所ごとにまとめた防災マップの作成を提案したことがあり、その際、地域に合ったマップの作成を進めたいとの考えが示されていたが、未だに具体的に確認できていない。その後どうなっているのか。

#### 質問事項 3

##### し尿等中継施設問題について

##### 質問の要旨

昨年6月定例議会において、大瀬戸町下山地区に、地元区長も市長さえも知らない間に、市外のし尿が持ち込まれる民間事業者の施設が建設された問題について質問したところ、市長から、一日も早い移転のため、長崎市ともしっかり協議したいとの答弁を受けた。それから1年以上が経過したが、その後どうなっているのか。

#### 質問事項 4

##### 閉校した多以良小学校施設利活用問題について

##### 質問の要旨

昨年9月定例議会において、閉校した多以良小学校の利活用問題について質問し

たところ、教育委員会事務所の移転を決定したと答弁されていたが、実施されないままである。施設を無人化しないでほしいという地域住民からの要望に応える必要があると思うが、今後の見通しを伺う。

## 質問事項 5

### LCAC問題について

#### 質問の要旨

- (1) 市民の安全確保と生活環境の保全のため、協定書の遵守を一貫して求める市長の姿勢に敬意を表するが、九州防衛局や防衛省は、米海軍のLCAC夜間運用の意向を伝えてくるという対応である。  
市議会と共に夜間運用をさせないことを防衛省に要望したが、その後、米海軍から断念するとの回答はあったか。
- (2) 基地及び航路周辺における騒音の測定を国の責任において常時実施することを要望したが、調べたところ、米軍機の飛行に伴う騒音を防衛省として平成 25 年 9 月から島根県と広島県に測定器を設置し、調査を実施していることが判明した。引き続き要望すべきと思うが、いかがお考えか。
- (3) 事前通知を行わないまま運用するという事態が続いている。協定書が遵守されない事態が続く場合、今後どう対応するのか。

## 4. 永田良一議員

### 質問事項 1

#### 樹園地基盤整備事業計画について

#### 質問の要旨

- (1) 西彼町小迎地区、白崎地区各 10 ヘクタールの大型基盤整備事業が計画されているが、現況はどうか。
- (2) この対象地区で利用する水源はどのようなになっているか。
- (3) 受益関係者との説明会等の開催状況は。

### 質問事項 2

#### 西彼町喰場郷鳥の巣地区の圃場整備について

#### 質問の要旨

昭和 50 年度に西彼町喰場郷で鳥の巣地区基盤整備事業 8.4 ヘクタールが完了し

たが、地盤沈下がひどくなり、耕作不能により荒廃化していった。

平成 24 年度から県の事業により大明寺川河川改修工事が始まり、地権者が荒廃している当該圃場をこの事業で浚渫した土砂で嵩上げすることを要望し、2ヘクタールほど嵩上げが済んでいるが、塩害の恐れがあり耕作に至っていない現状である。

そこで、他の基盤整備との関連で、作土（赤土）等で嵩上げして、圃場整備する考えはないか。

## 5. 中野良雄議員

### 質問事項 1

#### 大雨災害の対応と災害復旧・減災対策について

#### 質問の要旨

本年 7 月 3 日の大雨は「50 年に一度」と言われる豪雨となり、本市では多くの土砂崩れや家屋の倒壊、浸水、河川の氾濫などにより、農地や農作物に大きな被害を引き起こした。

また、8 月には台風接近に伴う記録的な大雨により被害が広がった。

これらの大雨災害への対応と災害復旧・減災対策に関し、次の点について伺う。

- (1) 本年 7 月・8 月の大雨による被害状況と災害対応の状況を伺う。
- (2) 災害復旧の見通しを伺う。
- (3) 減災対策について
  - ① 近年、全国的に「50 年に一度」と言われる記録的な豪雨が多発しているが、災害復旧に当たっては、これらの豪雨に耐えられるよう、河川等の改修には堤防の嵩上げや河川内の土砂の除去、並びに市道・県道などのヒューム管の大型化等を進めることは出来ないか伺う。

また、集落や行政区内の住民の高齢化に伴い、青道等の維持管理が不十分なため被害が拡大しているケースが出ている。このような状況に対する対応策を検討すべきだと考えるが、市長の考えは。
  - ② 大瀬戸町上越地区は、過去にも度々大雨による災害を繰り返している。当該地区の地滑り対策を講ずるべきだと考えるが、市長の考えは。
- (4) 今回の大雨災害により発生した家屋や田畑等の被害について、その復旧に当たり発生する所有者負担に対し、負担軽減策を講ずることができないか伺う。

## 6. 渡辺督郎議員

### 質問事項 1

#### 地方創生本部について

#### 質問の要旨

- (1) 政府は人口減少や地域経済の活性化対策に取り組む「まち・ひと・しごと創生本部」を9月にも創設する。首相を本部長に、全閣僚がメンバーとなり、担当相も置く方針という。地域支援のための関連法案を秋の臨時国会に提出すると言っている。西海市の態勢は如何か。
- (2) 事務局は総務、財務、経済産業など各省の出向者から成る。省庁の縄張り意識を取り払い、一元的な施策を実行する狙いがあるという。首相は、「若者が働き子どもを育て、次世代へと豊かな暮らしをつないでいくことは極めて重要だ」と言っている。

西海市も各部の若手職員からなる斬新な対策グループを設立してみてもどうか。
- (3) 政府は、2015年度予算の概算要求基準で、地方活性化や人口減少対策を対象に、最大4兆円規模の特別枠を設けると言っている。ただ待つのではなく、地方が自ら考え、行動する政策が今必要となっている。市長の見解は如何か。

### 質問事項 2

#### 大雨対策について

#### 質問の要旨

- (1) 6月定例会で質問した満砂状態の治山ダムが、案の定、7月3日の50年に一度という大雨により、下流に多くの土砂を流してしまった。砂防ダム、治山ダムの再度の点検が必要であると思われるが如何か。
- (2) 7月3日の大雨により河通川にある砂防ダムの下流域が氾濫してしまった。砂防ダムは、当初堰堤に数か所水抜き穴があり、堰堤上部から越流する砂防ダムであった。それが近年、中央部の堰堤をなくし、透過型のスリット式のダムに改造された。当然、急激な大雨では水量が増えることは予想されるが、下流域の対策は取られていなかった。今回の河通川の氾濫は、その下流域対策が取られていなかったことが原因と考えられるが、如何か。
- (3) 7月3日前後の雪浦ダムの放流がどのようにされたのか。
- (4) 7月3日の干潮は午前5時46分、満潮は午前11時35分であったが、朝から雪浦川下流域は、流水が防波堤の上端を超える程度に水嵩が増していた。前日か

ら放流する等の手立てはできなかつたのか。雪浦ダムの安全な放流について、検証と対策が必要ではないか。

### 質問事項 3

雪浦川の河川整備基本方針、河川整備計画について

#### 質問の要旨

- (1) 河川整備基本方針、河川整備計画の今後のタイムスケジュールについて伺う。
- (2) 河通川等の支流の扱いはどうなるのか。
- (3) 50年に一度と言われる豪雨が多発しており、早急な河川整備基本方針、河川整備計画を実施する必要があると思われるが如何か。

## 7. 中尾清敏議員

### 質問事項 1

シルバー人材センターの活用促進と農業者支援について

#### 質問の要旨

シルバー人材センターの受注状況については、公共受注が25%、民間受注が75%となっているが、民間受注のうち農業者受注が60%を占める現状にある。そこで、発注する農業者負担の軽減措置を行い、延いてはシルバー人材センターの受注増加と財務状況の改善に資するため、農業者による同センターへの発注に係る支援費制度を設ける考えはないか伺う。

### 質問事項 2

七釜鍾乳洞周辺の再生への取組みについて

#### 質問の要旨

- (1) 七釜鍾乳洞周辺の観光開発、観光客の集客について、今後どのように進めるのか市長の考えを伺う。また、平成23年3月定例会での同僚議員の質問に対し、観光ホテル敷地一帯の公有化は自然公園を含めた鍾乳洞一帯の構想として今後検討する旨の答弁があり、その後、昨年9月定例会で私が質問した際には、土地所有者との調整等を念頭に、現時点での公有化は難しい旨の答弁を得たが、改めて検討する考えはないか再度伺う。
- (2) 10月2日～4日まで、全国鍾乳洞サミットが開催される。市としてどうアピールするのか。



- (3) 西海市天然記念物七釜鍾乳洞管理保存計画において保護と活用方針が示されている国指定地外の洞窟や西海楽園内の化石の森（石柱群）を含め、指定地内外の区域の一体的な保存管理は進んでいるのか。また、指定地外区域の公開活用については、どのように計画しているのか、それぞれ伺う。
- (4) 西彼杵広域農道（西海オレンジロード）から七釜鍾乳洞へ通ずる道路の一部に狭隘きょうあいな部分があるが、七釜鍾乳洞へのアクセス改善の効果も見据えながら、当該部分の道路拡張を実施する計画はないか伺う。

### 質問事項3

#### 耕作放棄地解消対策について

##### 質問の要旨

健康食品として近年人気が高まっているオリーブは、国内では香川県の小豆島が産地として有名であるが、県内でも本市に加え、佐世保市や長与町において植栽され加工販売されている。

西海市では、本年7月に耕作放棄地解消とオリーブの6次産業化を目指して、西海市オリーブ振興協議会が設立されたところであるが、市場性の高いオリーブは今後も収益拡大が見込まれる有望作物であると確信するところ、これを本市の振興作物と位置付け、推奨品目に指定してはどうかと考えるが、市長の見解を伺う。

## 8. 浅田直幸議員

### 質問事項1

#### 海洋再生可能エネルギーの実証フィールド誘致事業について

##### 質問の要旨

国からの選定を受け、これから企業などが潮流発電や洋上風力発電の実用化に向けた取り組みを進めていくものと思われる。そこで、西海市としてのこれからの対応と課題について伺いたい。

また、この事業による崎戸町（崎戸島、江島、平島）の将来をどのように描いているか伺う。

### 質問事項2

#### 西海市の観光行政について

##### 質問の要旨

今後、旧長崎オランダ村が再生されると西海市の核になり、観光の中心となっていくことが推測される。ただ、オランダ村以外の地域にとっては交流人口が一点に集中し、他の地域はその恩恵に与ることができないのではないかと不安な面もある。そこで、今後はオランダ村との連携をいかにプランニングしていくのかが西海市全体の観光の発展の鍵になるのではないかと考える。行政としてこれからオランダ村以外の地域の発展をどう模索していくのか伺いたい。

### 質問事項 3

#### 西海市立図書館等図書について

##### 質問の要旨

- (1) 西海市立図書館等図書廃棄規程によって廃棄される図書について以下のことを伺いたい。
  - ① 1年に廃棄される図書の数(過去3年分)
  - ② 廃棄が決定された図書の内、破損等のないものの処分はどうしているのか。
- (2) 新刊の購入数は年度によって異なるのか。
- (3) 新刊の選定方法は。

### 質問事項 4

#### 崎戸海浜公園の海水浴場認定について

##### 質問の要旨

この問題に対しては昨年の9月定例会の一般質問において「運営主体を含め、今後、検討、協議していく必要があると判断しており、十分精査し検討したい。」という答弁を頂いたが現状はどうなのか。また、今後の見通しについて、市長の見解を伺う。

## 9. 平野直幸議員

### 質問事項 1

#### 基地対策について

##### 質問の要旨

西海町横瀬の米海軍施設は燃料貯油所の機能から、平成25年3月のLCAC(エルキャック)基地の完成とともに、事実上米海軍の軍用基地へと大きく変貌した。これに伴う民生の安定に関する行政の推進については、基地対策協議会等により地

元住民の要望など把握し、施策の推進を図っているものと認識している。

基地対策は、「受け入れ時」「工事中」「運用開始」の節目において、その時に対応した取り組みを行ってきたところであるが、これからも平和都市西海市として、また、基地と共存・共生する基礎自治体として、これからの行政施策の方向について次のことを伺う。

- (1) 国、県に対しての計画的な要望活動については。
- (2) 基地に関する「基地周辺振興基本条例」を制定してはどうか。
- (3) 米兵の交通事故を教訓にした道路の改善策については。

## 質問事項 2

### 政策形成と適正な予算編成について

#### 質問の要旨

西海市においてはここ数年間、し尿処理、ごみ処理施設、リサイクル施設及び道路長寿命化対策工事等、市民生活上最も重要な施策に大型の予算が投じられてきている。

各事業においては、計画段階では政策的評価を踏まえて採択・予算化へと進行していると認識しているが、事業完了後における事業評価と改善は最も重要な点検項目と確信する。政策形成としての「計画」「実行」「評価」「改善」サイクルの仕組みづくりと適正な予算化について次のことを伺う。

- (1) ここまでの事業において、どの機関で評価されてきたか。
- (2) 改善が必要との意見の反映はどう生かされたか。
- (3) 墓地に係る道の事業は、他の墓地も同様に予算化するのか。

## 10. 宮 本 一 昭 議員

### 質問事項 1

#### 風早工業団地造成工事について

#### 質問の要旨

- (1) 分譲開始を控え、団地造成工事の進捗状況について伺う。
- (2) 工業団地予定地より低いところに位置する地域では、今年の夏の度重なる大雨により床下浸水した住宅もあったが、工業団地造成工事により雨水が集中的に当該地域に流れ込んだ影響もあったのではないかと考えるが、十分な対応はなされていたか。

- (3) 風早川への排水対策は十分なされているか。
- (4) 企業参入の見通しについて伺う。また、工業に限定することなく、農業系企業も視野に入れた募集を考えてはどうか。
- (5) 第2期工事の開始はいつからか。

## 質問事項2

### 救急体制について

#### 質問の要旨

- (1) 平成25年6月定例会における一般質問で、西彼町南部は、消防局出張所から遠く、救急車要請から到着までに時間がかかり、救急の場合に間に合わない状況にあるため、広域の出張所の設置ができないかと質問した。これに対し、財政面から出張所の設置は困難との答弁を得たが、当該地域住民の不安解消のため、救急体制の見直しが必要と考えるが、どうか。
- (2) 平成25年6月定例会における一般質問の際、私からの各消防倉庫(詰所)へのAED(自動体外式助細動器)を設置してはどうかとの提案に対し、関係部局と十分協議しながら検討していきたいとの答弁を得たが、その後の進捗はあったか。

## 質問事項3

### 市管理の河川整備について

#### 質問の要旨

- (1) この夏の大雨により、西彼町平原川も昭和57年の長崎大水害、平成13年の集中豪雨以来、3回目の大きな氾濫を起こし、水田、ハウス施設等が大きな被害を受けた。2級河川に該当しない小規模な河川についても、集中豪雨に対応できるよう工事が必要と考えるが、市長の見解は。

## 11. 井田利定議員

### 質問事項1

#### 災害に対する危機管理体制について

#### 質問の要旨

今回の大雨や台風を契機として、西海市の地域防災計画及び危機管理体制に関し、次の点について伺う。

- (1) 今回、本市地域にも大雨・洪水警報や土砂災害情報が発令されたが、本市でも災害対策本部が設置されたのか。また、同本部設置の事実や被害発生時の情報提

供先、避難等に関する問合せ先など、市民への情報提供はどのようになされたのか。

- (2) 災害発生時の情報収集方法や担当部署など、西海市における体制はどのようになっているか。
- (3) 市内の被害状況に関し、件数・規模・被害内容はどのようなものであったか。
- (4) 災害発生時に緊急措置が必要となった場合の対応や復旧に民間事業者の支援が必要となった場合の体制や仕組みはどうか。また、今回の大雨の際には、民間事業者においてどのような体制が取られたのか。
- (5) 被害の大小を問わず、市内における被害に関し、復旧復興に向けた進捗状況及び今後の計画はどうか。
- (6) 今回の災害を検証した上で、西海市地域防災計画の見直しが必要と思われるが、市長の考えは。

## 質問事項 2

### 健康づくりの推進について

#### 質問の要旨

- (1) 特定健診や各種がん検診の実施により疾病予防の取組みは充実しているようであるが、未だ市民への周知や理解を得るための取組みには努力の余地があると思われるところ、本市における受診率を伺う。
- (2) 胃がん検診の際のバリウムによる胃透視検査に抵抗感を持つ人も多いが、現在、厚生労働省は、胃がん予防のためにヘリコバクターピロリ菌をその発症因子と認め、慢性胃炎の段階までの除菌について保険適用を拡大している。そこで、特定健診時の検査項目にピロリ菌検査を追加できないか伺う。
- (3) 女性特有のがん検査は充実しているが、本市では、男性特有の前立腺がん検査が実施されていない。血液検査で発見できると思うが、がん検診の検査項目にこれを追加できないか伺う。

## 12. 杉 澤 泰 彦 議員

### 質問事項 1

#### 学校統合後のアンケート結果について

#### 質問の要旨

今年の6月に大瀬戸小学校、8月には大崎中学校の学校統合後のアンケート集計

結果が公表された。保護者、生徒、児童それぞれの視点で統合に関する評価が示されている。この集計結果を参考にしながら活かすべきものは活かし、より良い学校づくりが期待されるものと思う。次のことを聞きたい。

- (1) 大瀬戸小学校及び大崎中学校のアンケート結果についての教育委員会の総括
- (2) 両校の統合後の問題点をどのように認識したのか。また、その解決策について。
- (3) この集計結果を今後どのように活かして行くのか。

## 質問事項 2

### 西海市特産品開発について

#### 質問の要旨

食の町西海市として特産品開発は重要である。最近、「味覚センサ」という、人の感じる味覚を表現可能とする技術の研究について説明を受け、今後の食品開発に対し大きな可能性を感じたところである。本市においてもいろんな食材を使って将来の市の財産となりうる「美味しいものづくり」をテーマとした研究を政策に生かしていったらどうか。ハイテクを駆使した他の町にないものを作り上げることは、強い競争力を持つものとする。

現在の食材として潜在的価値を秘めているものの一例としてイノシシ肉がある。

- ① イノシシ肉を別の「味覚」に変える。たとえばクジラの味覚に変換し、「陸くじら」などのネーミングで製品化
- ② 製品化の後、市の知的財産権として登録して将来においていつでも使用できる体制を作り上げる。他の市町村、事業者の参入を防ぎ西海市内独自の特産品として売り出す。

というプロセスになると思うが、政策として研究する考えについて聞きたい。

## 13. 戸 浦 善 彦 議員

### 質問事項 1

#### 西海市の魅力あるまちづくりについて

#### 質問の要旨

- (1) 西海市の年齢別人口の推移について伺う。
- (2) 西海市は「住みたい田舎ランキング」で全国何番目の評価をいただいているのか伺う。
- (3) 将来に向けた目標として何をメインにまちづくりを進められるのか伺う。

## 質問事項 2

西海市民の安全安心なまちづくりについて

### 質問の要旨

今後、異常気象に伴う水害で民家に危害をおよぼすおそれのある地域の地すべり対策はどうなっているのか伺う。

## 質問事項 3

西海市の教育について

### 質問の要旨

- (1) 西海市が目指す教育のまちづくりの基本的な方針について伺う。
- (2) 全国学力テストの公表についての考え方について伺う。
- (3) 西彼杵高校と大崎高校の入学者や卒業後の進路の状況について伺う。
- (4) 定数割れしている両校の今後について、市の支援策をどのように考えているのか伺う。

## 質問事項 4

西海市が今後目指す水産物の「ブランド」確立の取り組みについて

### 質問の要旨

西海市の魚「あらかぶ」のブランド化について、どのように取り組んで行くのか伺う。

## 14. 小 嶋 俊 樹 議員

### 質問事項 1

旧長崎オランダ村の再開発について

### 質問の要旨

- (1) 旧長崎オランダ村の再生は、市長の政治公約でもあり、本市の大きな課題の1つである。

市長在任6年目に至ってもAゾーンの公共的使用に止まり、目標であった交流人口増に向けた情報発信地としての役割は、具体的政策として提案できていない。その理由を伺う。

- (2) 最近、ハウステンボス社長 澤田秀雄氏のマスコミでの発表で、にわかに関西ゾーンをはじめとする旧施設の再利用が取りざたされているが、市は澤田氏のビジ

ョンをどの程度の時間的猶予をもって対応するのか伺う。

## 質問事項 2

### インフラの管理と整備について

#### 質問の要旨

- (1) 先頃、広島市などが豪雨災害で多大な被害を受けた。  
災害は予測できず、日頃より危険箇所の確認や住民への周知などが必要である。  
市道や農道の部分崩壊場所の管理・整備が十分でないのは、どのような理由か伺う。
- (2) 崩壊のおそれのある場所の点検や住宅地における危険箇所の確認など、十分日頃から行われているか伺う。